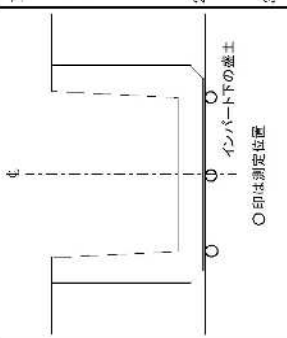
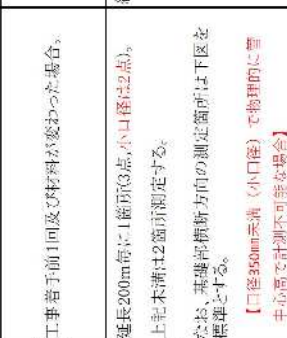
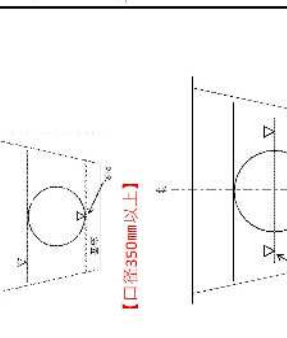
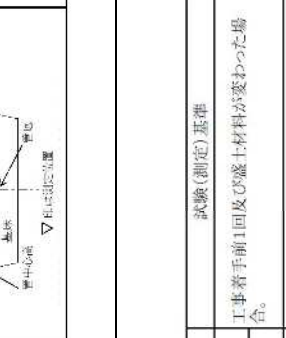
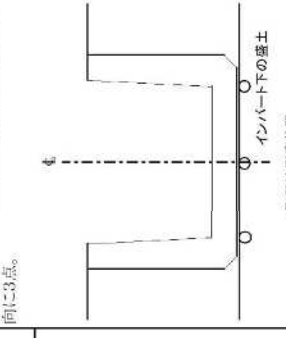


別表第3 品質管理		改正後			改正前			備考
工種項目区分	試験(測定)項目	試験方法	試験(測定)基準	(参考)規格値	管理方式	処置		
(2) 道路工事	材	軟弱スラッグの水浸透率試験	縦断面・試験法規程 B001	中規模以上の工事：施工前、材料変更時、 小規模以下の工事：施工前。	1.5%以下。			
		道路用スラッグの着色判定試験	JIS A 5015 付属書2 JIS A 5015 付属書1	着色法による土の密度試験 現場密度の測定	最大乾燥密度の93%以上(3点全てとする)。 歩道等は規格値の95%以上(3点全てとする)。 以下異なる。	着色なし。		
	工	舗装の平面載荷試験	JIS A 1215	特別仕様書による。	特別仕様書による。			
		骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	中規模以上の工事：異常が認められたとき。	JIS A 5001 表2参照 AS 舗装 I-1交通 9以下 I-2交通以上 6以下 CO 舗装 6以下			
		425μmふるい通過部分の塑性指数	JIS A 1205		特別仕様書による。			
		土の含水比試験	JIS A 1203		JIS A 5001 表2参照 AS 舗装 I-1交通 60以上 I-2交通以上 80以上 CO 舗装 80以上			
		突固めによる土の締固め試験	JIS A 1210	中規模以上の工事：施工前、材料変更時。				
		骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	小規模以下の工事：施工前。				
		修正CBR試験	縦断面・試験法規程 A001		JIS A 5001 表2参照 AS 舗装 I-1交通 15% CO 舗装 2.36mmふるい =10% AS 舗装 75μmふるい =6% CO 舗装 75μmふるい =4%			
		425μmふるい通過部分の塑性指数	JIS A 1205		4以下。			
単位容積質量	JIS A 1104		スラッグ1.5kg/ℓ以上。					
舗装スラッグの水浸透率試験	縦断面・試験法規程 B004	JIS A 5015 付属書2	中規模以上の工事：定期かつ異常が認められたとき。	1.5%以下。				
	道路用スラッグの着色判定試験	JIS A 5015 付属書1	特別仕様書による。	着色なし。				
舗装スラッグの水浸透率試験	縦断面・試験法規程 A003	JIS A 1215	特別仕様書による。	1.2MPa以上。(12kg/cm ² 以上)				
	425μmふるい通過部分の塑性指数	JIS A 1205	異常が認められたとき。	最大乾燥密度の93%以上(3点全てとする)。 歩道等は規格値の95%以上(3点全てとする)。				
舗装スラッグの水浸透率試験	縦断面・試験法規程 A003	JIS A 1215	特別仕様書による。	AS 舗装 2.36mmふるい =15% CO 舗装 2.36mmふるい =10% AS 舗装 75μmふるい =6% CO 舗装 75μmふるい =4%				
	425μmふるい通過部分の塑性指数	JIS A 1205		4以下。				
土の含水比試験	JIS A 1203		異常が認められたとき。	特別仕様書による。				

別表第3 品質管理		改正前			備考		
工種項目区分	試験(測定)項目	試験方法	試験(測定)基準	(参考)規格値	管理方式	処置	
(2) 道路工事	材	軟弱スラッグの水浸透率試験	縦断面・試験法規程 B001	中規模以上の工事：施工前、材料変更時、 小規模以下の工事：施工前。	1.5%以内。		
		道路用スラッグの着色判定試験	JIS A 5015 付属書2 JIS A 5015 付属書1	着色法による土の密度試験 現場密度の測定	最大乾燥密度の93%以上(3点全てとする)。 歩道等は規格値の95%以上(3点全てとする)。 以下異なる。	着色なし。	
	工	舗装の平面載荷試験	JIS A 1215	特別仕様書による。	特別仕様書による。		
		骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	中規模以上の工事：異常が認められたとき。	JIS A 5001 表2参照 AS 舗装 I-1交通 9以下 I-2交通以上 6以下 CO 舗装 6以下		
		425μmふるい通過部分の塑性指数	JIS A 1205		特別仕様書による。		
		土の含水比試験	JIS A 1203		JIS A 5001 表2参照 AS 舗装 I-1交通 60以下 I-2交通以上 80以下 CO 舗装 80以下		
		突固めによる土の締固め試験	JIS A 1210	中規模以上の工事：施工前、材料変更時。			
		骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	小規模以下の工事：施工前。			
		修正CBR試験	縦断面・試験法規程 B001		JIS A 5001 表2参照 AS 舗装 I-1交通 15% CO 舗装 2.36mmふるい =10% AS 舗装 75μmふるい =6% CO 舗装 75μmふるい =4%		
		425μmふるい通過部分の塑性指数	JIS A 1205		4以下。		
単位容積質量	JIS A 1104		スラッグ1.5kg/ℓ以上。				
舗装スラッグの水浸透率試験	縦断面・試験法規程 B004	JIS A 5015 付属書2	中規模以上の工事：定期かつ異常が認められたとき。	1.5%以内。			
	道路用スラッグの着色判定試験	JIS A 5015 付属書1	特別仕様書による。	着色なし。			
舗装スラッグの水浸透率試験	縦断面・試験法規程 A003	JIS A 1215	特別仕様書による。	1.2MPa以上。(12kg/cm ² 以上)			
	425μmふるい通過部分の塑性指数	JIS A 1205	異常が認められたとき。	最大乾燥密度の93%以上(3点全てとする)。 歩道等は規格値の95%以上(3点全てとする)。			
舗装スラッグの水浸透率試験	縦断面・試験法規程 A003	JIS A 1215	特別仕様書による。	AS 舗装 2.36mmふるい =15% CO 舗装 2.36mmふるい =10% AS 舗装 75μmふるい =6% CO 舗装 75μmふるい =4%			
	425μmふるい通過部分の塑性指数	JIS A 1205		4以下。			
土の含水比試験	JIS A 1203		異常が認められたとき。	特別仕様書による。			

字句修正

工事施工管理基準（農地関係） 新旧対照表

改正後					改正前					備考
工種	項目区分	試験(測定)項目	試験方法	試験(測定)基準	(参考)規格値	管理方式	処置			備考
水路工事（インバート下の盛土）	(1) 盛土	突固めによる土の締固め試験	JIS A 1210	工事着手前1回及びの盛土材料が変わった場合 延長200m毎に1回(3点)、測定箇所は横断方向に3点。 	1. 乾燥密度で規定する場合 JIS A 1210 の試験で最大乾燥密度に対する締固め度(6 参考資料 4.突固め方法の種類)の適用については、 A・B方法 90 %以上 (3点全て) C・D・E方法 85 %以上 (3点全て) 2. 飽和度で規定する場合、飽和度は85 ~95%の範囲とする。 3. 空気間ガキ率で規定する場合、空気間ガキ率は2~10%の範囲とする。 上記によらない場合は特別仕様書による。					
		土粒子の密度試験	JIS A 1202							
水路工事（管水路）	(1) 基礎（砂基礎等）	土の締固め試験	JIS A 1210	工事着手前1回及び材料が変わった場合、 延長200m毎に1箇所(3点,小口径は2点)、 上記未測は2箇所測定する。 	締固め度の規定 (JIS A 1210 のA・B法) 締固めⅠ 85 %以上 (3点全て) 締固めⅡ 90 %以上 (3点全て) 締固め度 = $\frac{\text{現場で締固めた後の乾燥密度}}{\text{JIS A 1210の乾燥方法による最大乾燥密度}} \times 100(\%)$ 上記によらない場合は特別仕様書による。					
		土粒子の密度試験	JIS A 1202							
水路工事（管水路）	(1) 基礎（砂基礎等）	土の含水比試験	JIS A 1203	なお、基礎部横断方向の測定箇所は下図を標準とする。 						
		土の含水比試験	JIS A 1203							
水路工事（管水路）	(1) 基礎（砂基礎等）	土の含水比試験	JIS A 1203	延長200m毎に1回(3点)、測定箇所は横断方向に3点。 	1. 乾燥密度で規定する場合 JIS A 1210 の試験で最大乾燥密度に対する締固め度(6 参考資料 4.突固め方法の種類)の適用については、 A・B方法 90 %以上 (3点全て) C・D・E方法 85 %以上 (3点全て) 2. 飽和度で規定する場合、飽和度は85 ~95%の範囲とする。 3. 空気間ガキ率で規定する場合、空気間ガキ率は2~10%の範囲とする。 上記によらない場合は特別仕様書による。					
		土の含水比試験	JIS A 1203							
水路工事（管水路）	(1) 基礎（砂基礎等）	土の含水比試験	JIS A 1203	延長200m毎に1箇所(3点)、 上記未測は2箇所測定する。 なお、基礎部横断方向の測定箇所は下図を標準とする。 	締固め度の規定 (JIS A 1210 のA・B法) 締固めⅠ 85 %以上 (3点全て) 締固めⅡ 90 %以上 (3点全て) 締固め度 = $\frac{\text{現場で締固めた後の乾燥密度}}{\text{JIS A 1210の試験方法による最大乾燥密度}} \times 100(\%)$ 上記によらない場合は特別仕様書による。					
		土の含水比試験	JIS A 1203							

小口径の場合、掘削幅が狭いことから、物理的に計測が不可能な場合があるため、その場合 H23 基準の管頂で計測とする。